

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 1 4 1 - 8 6 4 0  
住 所 東京都東五反田 2 - 1 8 - 1  
氏 名 メビウスパッケージング株式会社  
代表取締役社長 飯田 高 印  
代理人 川崎工場長 佐伯 武志  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第 1 1 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	メビウスパッケージング株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区浮島町 1 1 - 1		
該当する事業 者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	E	製造業
	中分類	18	プラスチック製品製造業（別掲を除く）
主たる事業 の内容	プラスチック容器製造販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		9,917 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ～ 2024 年度 (報告年度 2023 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	環境活動の取り組みについてはホームページにて公表しています。 <a href="https://www.mebius-pkg.co.jp/">https://www.mebius-pkg.co.jp/</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第 1、2、4 号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 ( 2021 年度)	第 1 年度 ( 2022 年度)	第 2 年度 ( 2023 年度)	第 3 年度 ( 年度)	目 標 排 出 量
排 出 量 ( t -CO2 )	(実) 18,677 (調) 18,512	(実) 17,243 (調) 13,625	(実) 18,142 (調) 15,499	(実) (調)	(実) 18,097 (調) 18,097
削 減 率		(実) 7.7 % (調) 26.4 %	(実) 2.9 % (調) 16.3 %	(実) % (調) %	(実) 3.1 % (調) 2.2 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量					原単位等の単位
	基準年度 ( 2021 年度)	第 1 年度 ( 2022 年度)	第 2 年度 ( 2023 年度)	第 3 年度 ( 年度)	目標とした値
排出量原単位 等 の 値					
活動量の値					-
排出量原単位 等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第 1 年度	使用電気の排出係数の良化 省エネ巡回等による工場各所エアークリーニング及び高効率モーターへの更新。これらにより、7.7%の削減が達成出来た。尚、今期、電力購入先が前年の東京電力エナジーパートナー(株)から(株)CDエナジーダイレクトに変更した影響もあると考える
第 2 年度	使用電気の調整後排出係数の良化 省エネ巡回等による工場各所エアークリーニング及び高効率モーターへの更新。これらにより、基準年度比で実排出量2.9%、調整後排出量16.3%の削減が達成出来た。
第 3 年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	<p>○生産活動の効率化 生産開始と停止の手順を明確化し、訓練することで、不良品率低減させ、これに掛かるエネルギーを削減する。</p> <p>○毎月省エネ巡回の実施 生産現場で無駄を見つけ改善を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアーの拭きっぱなしや洩れ</li> <li>・コンベヤやブローの空運転</li> <li>・照明のつけっぱなし</li> </ul> <p>○生産設備及びユーティリティ設備並びに空調機機器更新による高効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランス更新</li> <li>・押出機モーター更新</li> <li>・冷凍機更新</li> <li>・空調機更新</li> </ul>	
第 1 年度	<p>○生産活動の効率化 生産活動における総アウト率は2021年度(基準年度)7.4%に対して、2022年度は7.5%に止まり効率化は進まず温室効果ガスの排出量削減に貢献できませんでした。</p> <p>○毎月省エネ巡回の実施 省エネ巡回で無駄な電力使用の改善やトランス更新他90件の省エネ改善で電気使用量458千kwh/年の削減できました。</p> <p>○空調機更新 事務棟空調機更新及び食堂照明LED化、トランス更新</p>	
第 2 年度	<p>○生産活動の効率化 生産活動における総アウト率は2021年度(基準年度)7.4%に対して、2023年度は6.5%で生産効率は良化し温室効果ガスの排出量削減に貢献できました。</p> <p>○毎月省エネ巡回の実施 省エネ巡回で無駄な電力使用の改善や押出設備の電動機更新他83件の省エネ改善で電気使用量502千kwh/年の削減できました。</p> <p>○生産設備更新 押出設備の電動機更新</p>	
第 3 年度		
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

#### 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	○製品輸送の直行化（デポを使用せず、自工場から直接得意先へ）
第 1 年度	○製品輸送の直行化（デポを使用せず、自工場から直接得意先へ）
第 2 年度	○製品輸送の直行化（デポを使用せず、自工場から直接得意先へ）
第 3 年度	

#### 5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	○グリーン購入推進 ○廃棄物の分別と減量化を図る ○コピー用紙の購入抑制（裏印刷再利用推進）
第 1 年度	○グリーン購入推進 ○廃棄物の分別と減量化を図る ○コピー用紙の購入抑制（裏印刷再利用推進）
第 2 年度	○グリーン購入推進 ○廃棄物の分別と減量化を図る ○コピー用紙の購入抑制（裏印刷再利用推進）
第 3 年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	18,677 t-CO <sub>2</sub>	17,243 t-CO <sub>2</sub>	18,142 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー 使用量	10,354 KL	10,399 KL	9,917 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

（2）事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量（t-CO <sub>2</sub> ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
メビウスパッケージング株式会社 川崎工場	神奈川県川崎市川崎区浮島町 1-1	18,677	17,243	18,142	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量（t-CO <sub>2</sub> ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度